




事業概要【かがわグリーン産業成長促進計画】

申請者	香川県					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	492,447千円 (59,463千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>県内企業の成長と雇用創出を目指し、グリーン関連産業を育成。省エネ・再エネ設備投資の支援や技術開発の支援により、企業の収益増や競争力向上を図る。また、県産木材の供給体制整備や需要拡大に取り組み、県内林業の育成と就業者数の増加を促進。これにより、県内定着を促進し、経済の活性化を図る。</p>						
<p>事業概要・主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー・環境関連分野における支援 <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素化推進高機能材料開発等支援13,360千円 ・エネルギー関連産業育成支援事業4,192千円 ・県民向け環境負荷低減製品消費の促進309千円 ○産学金官が連携した県内企業の省エネ化による成長支援 <ul style="list-style-type: none"> ・かがわゼロカーボンシフト支援事業15,011千円 ・地域脱炭素導入支援事業2,500千円 ○県内林業の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備担い手対策支援事業24,091千円 					 <p>環境省HP、香川県HPより抜粋</p>	
地域の多様な主体の参画	<p>設備投資等に関して中小企業等に専門的な助言を行い、環境に配慮した設備投資に確実に繋げるほか、金融機関におけるESG融資の融資件数・融資額の拡大を図る。</p> <p>国、県、市町、学識経験者、産業・金融・エネルギー等の主要団体の代表者等で構成する「香川県地域脱炭素推進協議会」等により、企業や市場のニーズや課題を的確に捉え、技術開発に繋げる。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①開業した事業所数 (+3,800件) ②新規林業就業者数 (+70人) ③温室効果ガス排出量 (-1,385千t-CO2) ④県産木材の搬出量 (+1982m)

事業概要【多面的で持続可能な農村・漁村づくり推進事業】


申請者	香川県					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	859,656千円 (192,626千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>本事業により、農水産業の高収益化と安定した生産体制を実現。最新技術の導入支援で就農希望者の不安を払拭し、人材確保と担い手不足の解消に貢献。また、農地の多面的機能回復や環境保全活動の担い手の育成を通じて、地域の意識醸成と持続可能な農村・漁村の実現を目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>○農水産業の担い手の確保と高付加価値化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物の高付加価値化・安定生産体制の構築22,588千円 ・畜産物の高付加価値化推進21,900千円 ・魚介類の増養殖技術の実用化・高付加価値化の推進19,454千円 ・ニホンザル加害個体群対策19,209千円 <p>○持続可能な農村・漁村の保全体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地支援グループの組織化推進3,000千円 ・農地の利活用促進事業43,650千円 ・環境保全活動への参加促進2,739千円 ・持続可能な地域内資源循環型農業の実現50,586千円 ・田んぼダム推進事業9,500千円 						
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>民間事業者との連携協力のもと、実証実験を実施し、高品質な農水産物や生産技術等を確立する。 各分野に精通した団体、メディアによるPR等を通じて流通網の整備を図り、消費額を増加させる。 学識経験者を構成員とした協議会等で意見交換し、企業や市場のニーズ、直面している社会課題を的確に捉え、技術開発に繋げる。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①新規就農者数 (+900人) ②新規漁業就業者数 (+198人) ③多面的機能の維持・発揮活動を行う農用地面積 (+900ha) ④環境保全活動や環境学習講座等への参加状況 (+12%)

事業概要【デジタルを活用した働き方改革・雇用促進事業】

申請者	香川県					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	263,111千円 (57,462千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	ワーク・ライフ・バランスの実現には「働き方改革」が重要。職場環境のDX化や新たな働き方の創出が課題解決につながる。オンラインでの就職・採用プロセスも生産性向上と活発な学生・若者の活動を促進するとともに、情報発信とワークサポートかがわによる働き方改革の支援で県内企業の魅力向上を図る。また、本事業の実施により、移住者の増加が期待できる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○デジタル化を中心とした企業の生産性向上25,116千円 県内企業の生産性向上を図るため、技術的支援を中心と施策を展開。</p> <p>○多様な働き方の推進・導入支援27,946千円 job型雇用や副業、デジタルを取り入れた働き方など多様な働き方を選択できる新たな働き方改革を進めるため、県内企業向けにコンサルティング等を実施するとともに、サテライトオフィスやコワーキングスペース等を整備しようとする際の改修費や通信環境整備費等を補助。</p> <p>○採用・求職活動のデジタル化推進事業4,400千円 地方というハンデキャップを逆手に、就職・採用のデジタル化を進行することにより、県内はもとより県外からの就業、移住者を増加させるための情報発信やイベント実施経費</p>					  <p>明日から実践できる！</p> <p>香川の中小企業における ワーク・ライフ・バランス 導入マニュアル</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>様々な商工団体等と連携し、企業の働き方改革を進めるとともに、また若者、女性、高齢者、外国人等の採用に積極的に取り組む。大学等と連携し、学生の希望する就職環境等の情報交換を行う。メディアを通じ、働き方改革や取り組み内容の発信を行う。</p>					KPI	<p>①「かがわ働き方改革推進宣言」登録企業数 (+300社)</p> <p>②製造業における就業者1人当たりの生産額 (+250万円)</p> <p>③ワークサポートかがわ職業紹介件数 (+2,540件)</p> <p>④県外からの移住者 (+12,640人)</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【子育てするなら香川県・県民100万人計画推進事業】

旧制度（推進）

申請者	香川県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	55,504千円 (18,550千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	<p>企業で仕事と家庭の両立を支援し、女性が柔軟に働ける環境整備を行い、保育サービス充実や育児休業の取得を促進することにより、働く女性の心理的・身体的負担を軽減する。加えて、離職防止とキャリア形成を促す施策を実施することにより、女性の能力発揮と働く意欲向上を図る。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○女性向けビジネススキルアップ研修実施 1,250千円 ○女性の正規雇用の促進 5,027千円 <ul style="list-style-type: none"> ・就職相談、支援体制の構築等 ○女性や障害者等の雇用確保 6,314千円 <ul style="list-style-type: none"> ・企業等への訪問、定着支援までのトータルサポート等の実施等 ○働き方改革の普及啓発促進 496千円 <ul style="list-style-type: none"> ・優良企業の表彰、勉強会等への助成 ○若年者に対する県内企業の働き方改革の普及啓発 3,793千円 <ul style="list-style-type: none"> ・学生に対する出前講座等の実施 ○男女共同参画社会の推進 1,670千円 <ul style="list-style-type: none"> ・女性リーダーの資質向上と男女共同参画のための理解促進のための普及啓発 		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①保育所等利用待機児童数(+247人) ②県の就職支援策における女性の就職件数(+1,200件) ③「かがわ働き方改革推進宣言」、「かがわ女性キラサポ宣言」登録企業数(+288社) ④子育て行動計画策定企業認証マーク取得企業数(+72社) 	<p>関連URL</p>	<p>https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/18175/r6gyouseihyouk.a.pdf</p>

事業概要【かがわスタートアップ・企業誘致戦略推進事業】



旧制度（推進）

申請者	香川県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	188,509千円 (59,425千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	デジタル産業を含む多様な雇用機会を創出し、若者の県内定着や県外からの流入を促進する。加えて、デジタル・情報通信分野の産業基盤も強化され、スタートアップ支援や企業誘致によりデジタル人材の増加とスキルの向上が期待される。これにより、本県の人口増加とデジタルリテラシーの向上を実現する好循環が生まれる。		
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ○県内起業家の集積拠点となる施設整備・運営事業 6,653千円 ○スタートアップに対する伴走支援事業 28,800千円 <ul style="list-style-type: none"> ・専門家による相談対応の実施や、実践的な講座の開設等 ○スタートアップに対する成長加速化支援事業 14,267千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスコンペを実施し、優秀な事業に対して事業化に必要な経費の一部を補助等 ○企業誘致の情報発信体制の整備 2,190千円 ○産業フェア・マッチングイベントへの出展 5,692千円 ○産業活性化アドバイザー等のネットワークの活用 1,823千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①スタートアップスクエア事業及びスタートアップ成長加速化事業による起業者数 (+30件) ②開業した事業所数 (+3,132件) ③県の創業支援制度利用者に占める創業等事業者数 (+210件) ④企業立地件数 (+133件) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/18175/r6gyouseihyouka.pdf</p>

※経費内訳はR7年度事業費



事業概要【デジタル技術を活用した新たな地域資源開発推進事業】

旧制度（推進）

申請者	香川県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	407,846千円 (115,732千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>本事業の実施により、地域資源の開発と持続可能な農業生産体制の構築が実現され、①食品産業でのデジタル技術の研究開発が進み、SDGsや物価高騰対策に貢献すること、②オンライン商談会などを活用した販路拡大戦略による販売量増加、③デジタル技術の活用で農畜水産物の生産性向上やコスト削減が可能となる。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>○デジタル技術を活用した地域資源の開発 21,005千円 ・県の研究機関における研究対象食材の拡大や人材育成の取組を強化等を行う。</p> <p>○デジタル技術を活用した生産性向上・持続可能な生産体制の構築 39,616千円 ・デジタル技術を活用した県オリジナル品種の生産性の向上に取り組むとともに、持続可能な生産体制の構築に取り組む。</p> <p>○デジタル技術を活用した国内販路・国際販路の開拓 55,111千円 ・デジタルとリアルイベントの複合による相乗効果により県産品の認知度向上や県産品の消費拡大に取り組む。</p>		
KPI	<p>①県オリジナル品種の作付面積（+46ha） ②ブランド農産物の生産量（+2,423t） ③県産品の国内販売額（県サポート実績）（+288,258千円） ④県産品の海外販売額（県サポート実績）（+63,814千円）</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	関連URL	<p>https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/18175/r5gyouseihyouka6.pdf</p>

事業概要【官民共創DXによる“デジタル社会・かがわ”の形成】

旧制度（推進）

申請者	香川県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	390,544千円（127,107千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	県・市町、県内外の民間事業者が共創し、行政のまちづくりの知見と民間事業者のデジタル技術の知見を掛け合わせて住民のwell-beingを高めるサービスを創出し、官民共創DXによるまちづくりに取り組む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>①官民共創の拠点「かがわDX Lab」の運営や地域課題解決に資するサービス検討及び実装に向けた実証実験 ・「かがわDX Lab」運営費等 8,393千円</p> <p>②市町横断的な県下全域でのデータの収集・分析・活用の検討 ・講師謝金等 600千円</p> <p>③デジタル人材の育成 ・外部人材の報酬等 6,541千円 ・人材育成・拠点運営（指定管理）77,535千円 ・イノベーション推進講座の開催 25,240千円 ・拠点施設・備品整備 8,798千円</p>		 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①官民連携DXにより実装したサービスの件数（+5件）</p> <p>②「かがわDX Lab」の会員数（+100者）</p> <p>③市町横断的に収集したデータの利活用件数（+150件）</p> <p>④Setouchi-i-Baseで実施する講座・イベント等の延べ参加者数（+3万人）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.kagawa.lg.jp/document/s/18175/r6gyouseihyouka.pdf</p> <p><参考> ○かがわDX Lab https://kagawadxlab.pref.kagawa.lg.jp/ ○Setouchi-i-Base https://setouchibase.jp/</p>

事業概要【高松港周辺における魅力向上・にぎわい創出事業】

申請者	香川県					初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	423,036千円 (206,896千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内国際芸術祭の開催に併せて、来県者の利便性向上に関する整備等や、海外と連携したイベント開催、県内の文化イベント等への周遊を促進する「瀬戸内国際芸術祭2025県内連携事業『くるりアートかがわ』」を実施することにより、高松港を起点とした県全体の観光客等の増加につなげる。 ・瀬戸内国際芸術祭による交流人口の増加を県内各地に波及させるため、マラソンや伝統的工芸品のPRにより本県の魅力発信を強化。 ・来県時、来県後の観光客の利便性を向上させ、防犯対策の強化により観光客及び地域住民の安全を確保。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ol style="list-style-type: none"> 1 高松港周辺における瀬戸内国際芸術祭連携プロジェクト (28,443千円) 2 かがわマラソン実施事業 (170,341千円) 3 県内各地の魅力向上・発信強化 (8,112千円) 					 	※イメージ図
地域の多様な 主体の参画	<p>地元住民はもとより、県内において恒常的にイベントを開催している団体等にも企画の段階から参画してもらい、様々な意見を聴取しながらイベント内容を検討する。</p> <p>民間事業者等は、魅力化向上のための技術的アドバイスを通じた本事業への参画、報道機関については、報道活動を通じた誘客促進のための機運の醸成を高めていく。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①観光消費額 (+306億円) ②県外観光客数 (+4,800千人) ③外国人延宿泊者数 (+784千人) ④サンポート高松への5万トン級客船寄港回数 (+9回)


事業概要【瀬戸内海と文化資源の魅力を核とした観光推進事業】

旧制度（推進）


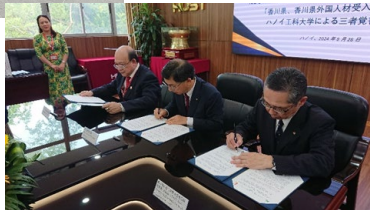
申請者	香川県	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	419,026千円（180,131千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内海の価値や魅力、美しさをさらに高め、伝え広めることで、交流人口を早期回復させる（コロナ前水準） ・本県特有の観光・文化資源の魅力を推進し、観光事業等の高付加価値化を図る。 ・観光・文化関連産業の担い手・次世代人材育成を行い、持続的な観光事業等推進を実現する。 ・これら取組みを通して、活力ある地域社会を形成する。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>○持続可能な観光地域づくりを目指し、民間事業者等が実施する観光客の継続的な来訪や長期滞在を促進するなどの観光コンテンツの造成や誘客イベントに対して支援を行う 13,020千円</p> <p>○うどん県アート県ブランドプロモーション事業：香川県のブランドイメージを強化するため、デジタルマーケティングの手法を取り入れ、効果的な情報発信を行う 60,038千円</p> <p>○県外観光客等が島に訪れたいよう旅行需要を喚起し、瀬戸内国際芸術祭会期にあわせて継続的に島観光を推進する。42,930千円</p> <p>○「香川漆芸」の効果的なPRや、文化資源の活用・価値を高める取組み等を通して、地域の魅力アップや国内外への発信に取組む 62,143千円</p> <p>○将来を担う子どもに対して、瀬戸内海を題材とした文化芸術体験を通じて、文化芸術振興の担い手を育成するもの。 2,000千円</p>			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①観光消費額（+148億円）</p> <p>②県外観光客数（+3,200千人）</p> <p>③かがわ文化芸術祭参加団体数〔累計〕（+438団体）</p>		関連URL （香川県総合計画URL） https://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/sogo/20231010giketsugopress.html	

事業概要【地域との協働による地域資源を活用した交流人口拡大事業】


旧制度（推進）

申請者	香川県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	79,000千円 (6,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	地域の民間団体や地元自治体と協働し、琴林公園（津田の松原）のにぎわいを取り戻すために、瀬戸内海国立公園指定90周年を契機としたイベントの実施や、施設整備を行い、「地域のにぎわいづくりの1丁目1番地」となることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「津田の松原琴林公園活性化マネージャー」の配置 1,200千円 ・新たに整備した施設の利活用方法の企画等 ○ 地域活性化イベントの開催・情報発信 4,800千円 ・初めて瀬戸内国際芸術祭2025の会場となる「志度・津田エリア」において、令和6年度に整備したパークレット等を活用した地域活性化イベントの開催や、琴林公園の魅力伝える映像制作およびインフルエンサーにより情報発信 		<p>パークレットの完成イメージ</p> 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額 (+150億円) ②県外観光客数 (+3,202千人) ③琴林公園の来園者数 (+26千人) ④琴林公園のイベント参加者数 (増加数) (+15千人) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/18175/r6gyouseihyouk a.pdf</p>



事業概要【外国人材受入促進事業】

申請者	香川県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	309,755千円 (95,982千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 海外大学等とのMOU締結により外国人材の受入を促進するとともに、県内企業の外国人材受入体制整備を支援することで「外国人材に選ばれる香川県」を目指し、本県産業を支える人材を安定的に確保する。 外国人材の受入促進と共生を推進することで、地域に新たな賑わいを創出する。 					
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新たな海外国との連携・来県促進 <ul style="list-style-type: none"> ・海外大学等との連携 37,061千円 ○海外人材の受入支援 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の外国人材受入等支援（補助金）42,100千円 ・企業向けセミナー等の実施 3,760千円 ○海外人材の定着支援 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の人材育成支援（補助金）5,000千円 ・情報発信の強化 2,170千円 ・外国人住民のコミュニケーション支援 5,891千円 <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>				 	
地域の多様な 主体の参画	<p>県内企業や監理団体等の意見集約や、ニーズの拾い出しを行い、外国人材の受入れ・共生に係る関係機関連携会議で報告する。留学生の受入れ促進を行うとともに、県内就職に関する情報提供等を行う。</p> <p>企業との接点が多い金融機関等を通じ、経営者などからの外国人材の受入れ等に関する課題などをヒアリングし、今後の取組みなどにつなげていく。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①外国人労働者数（+10,895人） ②外国人労働人材関係相談窓口での相談件数（+320件） ③かがわ外国人相談支援センターにおける相談支援件数（+1,780人） ④香川国際交流会館利用者数（+448,000人） ⑤製造業における就業者1人当たりの生産額（+200万円）


事業概要【インバウンド需要等呼び込むための夜型観光コンテンツ事業】

申請者	香川県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,076,911千円 (366,149千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的(効果)	<p>本県は、瀬戸内国際芸術祭など「アート県」としての特色ある取組みを行ってきたが、その期間・地域は限られる中、インバウンド・宿泊客等の県内広域的な誘客や、県民等が各地域・日常の中でアートへ触れる機会を創出することは大きな課題となっていた。そこで、新たなイベント・宿泊施設や拡充するインフラ等を最大限に生かした先駆的取組みを包括的に行うことにより、これらの課題を解消し、地域経済活性化の先進事例を目指す。</p>						
事業概要・主な経費	<p>【事業概要・主な経費】 本県ならではの地域資源を活かし、プロジェクションマッピングの実施、クルーズツアーの造成など、高付加価値な観光コンテンツ創出に取り組む。</p> <p>○新たな観光コンテンツづくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立アリーナ周辺での夜型観光推進事業 320,000千円 ・瀬戸内クルーズ事業 16,800千円 ・アートを巡るツアー事業 8,000千円 <p>○欧米豪等インバウンド誘客促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米豪等インセンティブ向けツアー造成事業 9,500千円 ・ビッグデータにもとづくインバウンド需要対応事業 4,000千円 <p>○地域活性化パブリックアート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・描画制作・プロジェクションマッピング実施委託費 7,849千円 					 <p>プロジェクションマッピングイメージ</p>  	
※経費内訳はR7年度事業費						KPI	<p>①観光消費額 (+349億円)</p> <p>②外国人平均宿泊数 (+0.63泊)</p> <p>③外国人延宿泊者数 (+555千人)</p> <p>④文化芸術の活用により、住民がふるさとに誇りを持ち、元気な地域の創造につながっていると考える県民の割合 (+4.4%)</p>
地域の多様な主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> ・県観光協会を通じ関係事業者・団体等の意見を事業内容に反映する。 ・高松観光コンベンション・ビューローの評議員でもある金融機関や、連携・協力に関する協定を結んでいる大学の意見を、地方経済の活性化という観点から事業内容のブラッシュアップにつなげる。 ・事業内容を各種メディアに対して随時発表し、県民へのタイムリーな情報発信を行い、事業効果を高める。 					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【需要・消費拡大による"儲かる"農水産業実現事業】

申請者	香川県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	939,487千円 (313,626千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	「香川ならでは」の多種多様で高品質な農水産物について、国内外を問わず、需要・消費拡大に資する取組みを行うことで、農水産業所得の向上と経営の発展を図り、本県の農水産業が将来に向けて安定的かつ持続的に発展していくことを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消費拡大事業 <ul style="list-style-type: none"> ・県内農林漁業者と実需者のマッチングの推進 6,500千円 ・実消費の創出 244,164千円 ○需要拡大事業 <ul style="list-style-type: none"> ・販売体制の強化 21,951千円 ・プロモーションの推進 33,214千円 ○供給体制強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・供給体制の強化 7,797千円 					 	
地域の多様な 主体の参画	<p>マッチング事業等を通じて当事者としての農林漁業者や地元企業のニーズを把握する。</p> <p>地域金融機関において事業拡大に伴う設備投資などのための融資を行うことで、農水産業所得の向上を図る。</p> <p>メディアを通じてタイムリーな情報発信を行うとともに、消費者ニーズを把握し、事業に反映する。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①ブランド農産物の生産量 (+600トン) ②県オリジナル品種の作付面積 (野菜、果樹、花き、オリーブ) (+9ha) ③新規就農者数 (+450人) ④新規漁業就業者数 (+99人) ⑤認定農業者である農業法人数 (+30法人) <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>

事業概要【文化芸術を通じた多世代交流拠点整備事業】

申請者	香川県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,818,538千円 (91,345千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・県民ホールを改修・整備し、文化芸術を通じた地域住民の交流の場を生み出すことで、地域活力の向上を目指す。 ・県民ホールを拠点として、文化芸術を観光やまちづくり、国際交流といった幅広い分野に繋げていくことで、経済活動との好循環を生む。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【拠点整備事業経費】</p> <p>○文化芸術を通じた地域住民の交流の場となる県民ホールを改修・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大ホール棟 大規模改修実施設計 87,126千円 ・小ホール棟 一般照明LED化実施設計 2,989千円 ・小ホール棟 バリアフリー化実施設計 1,230千円 <p>○地域住民の交流の場となる県民ホールにおいて、若い世代から高齢者に至るまで参加可能な交流事業を行う。</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>施設の指定管理者において、香川県県民ホールにおける自主事業を充実させ、文化芸術を通じた多世代間交流の活性化に繋げる。</p> <p>高校生以下のオーケストラをはじめとして、県民ホールを活用して若年層が文化芸術に接する機会を増やす。</p> <p>改修中、改修後において、県民ホールのメディア露出を担保することにより、各種イベントの認知度を高め、文化交流の強化に繋げる。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額 (+185億円) ②文化芸術が地域活性化に繋がっていると考える県民の割合 (+10%) ③文化芸術を鑑賞している県民の割合 (+15%) ④文化芸術を行っている県民の割合 (+7.5%) ⑤1年以内に県民ホールへ行った県民の割合 (+15%)

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【豊かな海づくり推進プロジェクト】

申請者	香川県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	546,456千円 (63,552千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	✓	事業分野 農林水産分野
目的・効果	気候変動等による海域環境の変化により漁業の生産量が激減していることから、漁場の生産力を向上させるための取組みを行うことにより、生産基盤である「豊かな海」を再生し、持続可能な水産業を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海域環境の改善に向けた活動の支援 18,300千円 ○餌となる底生生物の生物量調査 4,660千円 ○効率的な藻場造成・保全に向けた調査研究 4,500千円 ○水産資源の食害生物対策 7,415千円 ○栄養塩類の管理 8,677千円 <p>【インフラ整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○貧酸素対策のための覆砂による底質改善 20,000千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>漁業者から漁業現場の状況等についてフィードバックしてもらうことで、現状や取組の効果を把握し、改善につなげる。 地域ごとの課題を踏まえた対策を講じるため、地元市町と連携しながら進める。 大学や国の研究機関等と連携し、最新の知見を踏まえて調査研究を進める。</p>						

事業概要【サンポート高松地区周遊促進事業】

申請者	香川県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	225,000千円 (95,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 高松港サンポート高松地区周辺エリアは四国の玄関口として、海上交通の要衝として重要な位置にあり、四国全体の中核都市拠点として機能している。近年、JR高松駅ビル、大学、県立アリーナが整備され、今後、国内2箇所目となるマンダリンオリエンタルホテルの開業が予定されているほか、クルーズ岸壁を現在の5万トン級から11万トン級のクルーズ客船対応とする整備を進めており、令和9年度に完了する予定である。また、国内外から高い注目を集めている、瀬戸内海の島々に広がる現代アートの祭典である瀬戸内国際芸術祭の開催時には離島との海上交通の要衝の拠点となっている。 このような観光需要の高まりの中、クルーズ客船寄港時のバスやタクシーなどの二次交通不足による消費機会の喪失、交通渋滞によるクルーズ旅客等の満足度低下などの懸念があり、オーバーツーリズムへの対応が課題となっている。 そのため、港内の周遊によるピークシフトを図るとともに、市街地への周遊性を高めることで、オーバーツーリズムを解消し、増加する観光需要を確実に取り込む。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 滞在空間及び周遊ルートを整備する。併せて市街地に向けての新たなまちなか周遊バスの運行や歩行空間の整備に向けた実証実験を行う。</p> <p>【ソフト事業経費】 まちなか周遊バスの新規運行に係る実証実験 ○実証実験の実施（人件費、市場調査経費、車両整備経費）30,000千円 まちなかへの歩行空間の利用促進及び改善に係る実証実験 ○ホームページへの情報掲載、チラシ配布、歩行空間の整備に係る実証実験（委託費）5,000千円 ○高松港港湾緑地等におけるイベント企画運営</p> <p>【拠点整備事業経費】 高松港飲食店舗用コンテナハウス設置 ○コンテナ購入及び設置 50,000千円 高松港イベントスペース整備 ○詳細設計 10,000千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>大学及びまちづくり専門家に景観やゾーニング等についての意見を聴取し、より効果的な周遊性及び満足度の向上を図る。また、市が行う周辺開発との整合を図ることで、一層の効果発現を図るとともに、クルーズ岸壁等の周辺施設使用者に施設配置等についての意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。</p>					<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★①クルーズ旅客観光消費額（+70,897千円） ②クルーズ客船寄港回数（+17回） ③クルーズ旅客数（+8,627人） ④香川県訪日外国人消費額（36億円）

事業概要【スマートシティたかまつ推進事業（フリーアドレスシティたかまつ【FACT】～放課後FACT-ory:

学校時間以外のこどもの学びを地域で支える地域学習プラットフォーム構築推進事業）】

旧制度（推進）

申請者	香川県高松市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	77,660千円 (28,380千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的・効果	地域学習プラットフォーム(PF)を構築し、幼少期から高校期に、地域の企業、NPO等の団体などの地域コンテンツ活動への自らの好奇心に基づく参加・お仕事体験、就業を見据えた地域の探究マッチングを通じ、取材結果やプログラムを掲載し、それらをPF上で地域のこどもが共有するとともに、地域学習で得られたキャリアを、デジタルキャリアパスポートとして保管でき、将来、地域を担う人材となる「地域の学びサイクル」が息づくまちづくりを目指す。			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○地域学習プラットフォーム構築 13,640千円 ・地域学習プラットフォーム改良（委託料）10,340千円 ・ランニング費用（委託料）3,300千円 ○地域学習コンソーシアム設立準備、 ステークホルダ間課題調整、事業検討 6,380千円 ・コンソーシアム設立準備費用（委託料2,860千円） ・ステークホルダ調整、事業検討（委託料3,520千円） ○事業普及施策の実施 8,360千円 ・地域企業及び取材学生の募集、取材シナリオ作成支援（委託料）6,490千円 ・放課後FACT-ory普及イベント企画・運営（委託料）1,870千円		<p>The diagram illustrates the 'Digital Career Passport' system. It shows a flow from elementary and middle school students to high school and university students. Key components include: 'Local Content Creation' (with a 'See and Save' function), 'Local CP Review' (for elementary/middle school students), 'Local CP Collection/Exchange' (for high school students), and 'Local CP Review' (for high school students). The system also features 'Local Content Exploration Matching' and 'Job Experience Reservation'. A 'Digital Career Passport' is shown as a central element. The diagram also mentions 'Adults' as 'Guardians' and 'Local Content' as 'Local Talent'.</p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①学生の地域学習プラットフォーム利用者数（+9,380人） ②地域コンテンツプログラム掲載数（+70動画） ③満足度（+4.05点）		関連URL (効果検証) https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/johokokai/fuzoku/fuzoku/ruiji/seisaku/kikaku_20240618.html	

事業概要【人口減少・少子超高齢化に伴う地域課題の解決に向けた官民共創推進事業】

申請者	香川県高松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	18,207千円 (6,069千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 香川県内の事業者だけでなく、高松市東京事務所やWeWork拠点を活用しながら、大都市圏の民間事業者との間で、相互に、資源やアイデア、ノウハウ、技術等を持ち寄って、地域課題の解決を図る。 多くの人が集まり、まちが元気になり、活力にあふれる、その好循環を繰り返すまちとなることで、「人がつどい未来に躍動する 世界都市・高松」を目指す。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○官民共創マッチング事業 ⇒東京圏を中心とした企業に対して、本市の抱える地域課題を提示し、事業者との間で、最適な解決手法を協議し、実証事業の実施を経て、社会実装を目指すもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッチング事務局経費（委託料）5,000千円 <p>○WeWorkや都心オフィスを活用したビジネス交流会の実施 ⇒市長トップセールスを含む、WeWork入居事業者等に対して、市の取組や魅力をPRし、高松進出や新規事業、企業版ふるさと納税の実施等を働き掛けるもの（年間6回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流会運営、イベント情報発信・集客委託料：440千円 ・都心オフィス会場使用料・備品使用料：298千円 ・高松市長トップセールス（東京）旅費：170千円 ・市長随行者旅費：161千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>①産（高松商工会議所・香川県中小企業家同友会）・学（県内高等教育機関9校）・金（百十四銀行・高松信用金庫）・住民全般（高松市総合計画推進会議）：専門的見地から、事業の効果検証と改善点を提案</p> <p>②官（瀬戸・高松広域連携中枢都市圏構成市町）：高松市とともに、大都市圏のビジネス交流会に参加し、プロモーション活動を実施</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域ブランド調査における「魅力度」ランキングの上昇（+41位）</p> <p>②官民共創事業数の増加（+30件）</p> <p>③WeWorkイベントスペースや都心オフィスを活用したビジネス交流会の実施件数（+3件）</p>

事業概要【高松の魅力発信による若年層UJIターン促進・関係人口創出事業】

申請者	香川県高松市				初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	43,635千円 (15,320千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	インフラ整備事業	事業分野	人や企業の地方分散

目的・効果

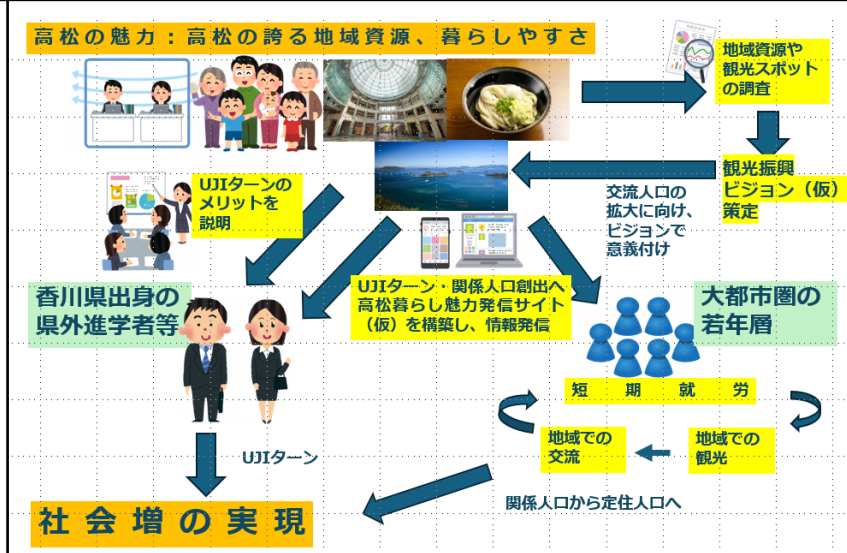
- 県内高校生の県外進学率が高く、県外進学者のUターン就職率が低い点を踏まえ、高松暮らしや地域資源等の魅力発信を行うことで、県外進学者等のUJIターンの促進や、大都市圏若年層の関係人口を創出・拡大。
- 併せて、高松が誇る地域資源等のマーケティング調査の実施と、調査結果を踏まえた観光振興ビジョン（仮）の策定により、大都市圏での高松認知度向上を図るとともに、上記の情報発信を意義付けし、発信内容・手法を強化。

事業概要・主な経費
※経費内訳はR7年度事業費

【事業概要】
大都市圏在住の若年層に高松の魅力を発信することで、高松へのUJIターン就職の促進や、訪問型関係人口の創出・拡大を図るもの。

【ソフト事業経費】

- 若年層へのUJIターン就職働き掛けによる定住促進
学生生活の早い段階から、市職員や地元企業の若手社員が、地元企業の情報や地元でのライフスタイル等を直接説明し、UJIターン就職を働き掛け
・委託料 5,500千円
- 短期就労型関係人口創出・拡大
高松市内での短期就労、観光、地域住民や団体との交流に関する魅力的な情報を届け、実際に体験させることで、関係人口を創出し、拡大
・委託料 5,000千円
- 移住定住や関係人口に向けた高松暮らし魅力発信サイト（仮）の構築
・委託料 2,620千円
- 地域資源等のマーケティング調査と観光振興ビジョン（仮）の策定
・委託料2,200千円



地域の多様な主体の参画

産（高松観光コンベンション・ビューロー・高松商工会議所・香川県中小企業家同友会）・学（県内高等教育機関9校）・金（百十四銀行・高松信用金庫）・住民全般（高松市総合計画推進会議）：若年層に訴求し、UJIターンや関係人口創出・拡大に寄与できる市内事業者や地域資源のピックアップ、観光振興ビジョン（仮）素案の策定（PLAN・DO）、事業の効果検証（CHECK）、改善点を提案（ACTION）官（香川県）：就職支援協定締結の県外大学への事業情報の提供

KPI
（★は必須KPI）
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

- ★①社会増（転入－転出）（+3,000人）
- ②UJIターンワークショップ参加学生（+250人）
- ③短期就労型関係人口創出・拡大事業への県外参加者数（+60人）
- ④高松暮らし魅力発信サイト（仮）PV数（+156,695回）

事業概要【中心市街地周遊観光促進プロジェクト】

申請者	香川県、丸亀市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,932,800千円 (185,800千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 市の観光施設である丸亀城の前面に位置する大手町地区において、物産館機能を持つ賑わい拠点施設の整備、隣接する公園の再整備、市道の歩行者空間化を行い、観光客の滞在性の向上と市民が中心市街地を訪れたい環境整備を行う。 丸亀駅原田線の無電柱化を実施し、都市景観の向上や防災機能の強化を図り、中心市街地を訪れたい環境構築に寄与する。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物産館機能を持つ賑わい拠点施設を整備 ・実施設計費 34,800千円 <p>【インフラ整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○丸亀駅原田線（城西工区）の無電柱化 ・事業費 105,000千円 ○市道大手町通町線、大手町東西2号線の歩行者空間化 ・実施設計費 16,000千円 ○市民ひろば再整備 ・実施設計費 30,000千円 					 <p style="text-align: right;">拠点施設イメージ図</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>市民活動団体が指定管理者と協力し、イベント実施、情報発信を行う。また、イベント実施後の聞き取りやアンケート、ワークショップなどの協働により、利用者目線での提案や改善点を明確にする。</p> <p>官民連携組織であるエリアプラットフォームにおいて活用方法について協議するとともに、社会実験などを実施し、利活用の改善につなげる。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①商店街の空き店舗率（△2.4%） ②市民ひろばでの年間イベント開催件数（+13件） ③拠点施設年間利用者数（+1万人） ④拠点施設内物産館年間売上高（+1千万円）

事業概要【緑を活用した人流創出事業「グリノベ（グリーンリノベーション）」】

申請者	香川県坂出市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	365,500千円 (38,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	生活環境の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> これまでの本市に対するイメージを「働くまち」から「住みたいまち」へ転換すべく、主要幹線沿いにある坂出緩衝緑地を地域活性化の拠点として再整備を行い、本市の魅力化につなげる。 本市中心市街地への人流が創出され、地域経済の活性化を図ることができ、本市の魅力化・本市への交流人口の増加を実現できる。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 坂出緩衝緑地を含めた本市中心市街地を再整備するPFI事業と連携しながら、同緑地において地域の物産や情報を発信する拠点施設を整備する。同緑地の運営者のノウハウなどを活かしてエリアコンセプトを設定した上で、施設内出店事業者のリーシングを行い、地域の活性化、本市の魅力化につなげる。</p> <p>【拠点整備事業経費】 下記ソフト事業によって作成したコンセプトや選定した出店候補者との相乗効果が得られる施設設計を実施する。 ・拠点施設整備 設計費：33,000千円</p> <p>【ソフト事業経費】 今後の同緑地における運営やイベントなどとの相乗効果を得ることでより高い効果を発揮すべく、P F I 事業による再整備後に同緑地の維持管理・運営を担う民間事業者ニーズのリサーチやエリアコンセプトの作成、拠点施設でのテナントリーシングを業務委託する。 ・拠点施設運営業務委託料：5,000千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>P F I 事業による再整備後に同緑地の維持管理・運営を担う民間事業者と連携しながら地域の活性化、本市の魅力化につながる運営を実現する。</p> <p>官学金など複数の主体が参画する「坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」において、本交付事業の効果、改善点を明確にする。</p>					<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>★①賑わい施設における交流人口 (+10,000人) ②同施設の売り上げ (+20百万円) ③坂出緩衝緑地への来園者数 (+4万人) ④同緑地でのイベント開催回数 (+10件)</p>


事業概要【新「道の駅」かんおんじ（仮称）整備事業】

申請者	香川県観音寺市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,027,904千円 (75,688千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅を新たに整備し、特産品の開発や積極的な情報発信を進めることにより、観光消費額の増加を図り地域経済の活性化をめざす。 自然災害発生時において、道の駅が四国全域の広域的な防災拠点としての役割を担えるよう整備し、安全安心な暮らしに寄与する。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 地域産品や名所旧跡等の多くの資源のポテンシャルを十分に発揮できていないことに加え、人口減少に起因する影響を縮小・緩和するため、産地直売所、物販、レストラン等の機能を備えた新たな「道の駅」を整備し、合わせて地域産品を使用した新商品の開発等を進める。また、アクセス向上のため道路新設事業も実施する。</p> <p>【ソフト事業経費】 地域資源の提案や市内事業者に向けた講義・ワークショップによるブランドマネジメント支援を通じて、より付加価値の高い商品開発を行う。 ・地域資源調査活用事業（委託料）10,356千円</p> <p>【拠点整備事業経費】 道の駅の基本設計を実施 ・基本設計の策定（委託料）28,100千円</p> <p>【インフラ整備事業経費】 道の駅へのアクセスを向上させるための道路新設事業 ・オーバースタック部橋梁予備設計及び南側市道整備設計（委託料）23,958千円 ・北側市道整備設計（委託料）13,274千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>市内事業者や高等学校等と共同で地元食材を活用した商品開発に取り組む。 また、自治会と連携するなどして利用者である地域住民の意見収集し、事業内容への反映に取り組む。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①一人当たり平均観光消費額（+1,936円）</p> <p>②年間来場者数（+85万人）</p> <p>③年間売上高（+8億2,400万円）</p>

事業概要【観音寺市にぎわい創出事業】

申請者	香川県観音寺市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	31,418千円 (11,790千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	<p>人口減少や少子高齢化に歯止めが掛からず、このまま何もしなければ当市の人口は、2060年には現在の約半分まで減少することが予想されるため、主原因である若い世代の流出阻止、獲得に向けてこれら若い世代が安心して居住できるとともに、市外からも興味を抱いてもらえる環境を構築し、関係人口や交流人口を創出し、市内人口を増加させることで賑わいにあふれるまちの形成をめざす。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>1.地域資源に係る魅力の創出及び発信に係る事業</p> <p>①当市が主体的にイベント等を開催又は市外で開催されるイベント等に参加して情報発信を行う。 4,643千円</p> <p>②地域おこし協力隊等との連携により、商店街等の魅力をあらゆる方面に発信する環境を構築する。</p> <p>③地域ブランド認証品等地域産品の販路の拡大を図る。 0(自主財源)</p> <p>④観音寺市観光協会の体制を強化する。 2,090千円</p> <p>⑤関係人口・ステークホルダーの増加を図る。 928千円</p> <p>2.商店街等の賑わいの創出に係る事業</p> <p>①商店街が行うイベント等に対し支援を行うとともに、空き店舗の有効活用を図るべく当該店舗での起業のための支援も行う。 2,500千円</p> <p>②起業等に必要資格取得支援や店舗等の経営持続化のための支援、人材確保のためのマッチング等を行う。 1,510千円</p> <p>③中心市街地及び当該地近隣への進出を促進するべく積極的な企業・店舗の誘致を行う。 119千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>交流センターを拠点として商店街連合会や地域、地元金融機関等と連携して中心市街地における集客に向けた仕掛けを展開すると同時に、新たな観光周遊ルートの構築のために香川大学等学生との協働による新たな価値の創造及びこれら成果についてSNSやメディア媒体を通じた積極的な情報発信を行う。</p>					<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>★・本市観光地への入込客数 (+82千人)</p> <p>・「観音寺ブランド」認証の産品数(累計) (+2件)</p> <p>・当市及び観音寺市観光協会SNS公式アカウントにおけるフォロワー者数の合計 (+1370アカウント)</p> <p>・市内高等学校への件が異性と受入者数 (+34人)</p> <p>・各商店街において営業する店舗数 (+1軒)</p> <p>・創業セミナーの参加者数 (+11人)</p>

事業概要【駅でつながるネットワーク拠点整備事業】

申請者	香川県三豊市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	138,990千円 (138,990千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>本市の玄関口であるJR駅舎の建替を機に、駅機能に加えてコミュニティ機能を新たに付加するとともに、交通結節点としての機能を強化するとして、コミュニティバスの乗り入れができるロータリーを新設するなど、JR四国と協働で新施設を整備する。</p> <p>官民協働による公共交通間の乗継の円滑化をはじめとして、エリア全体におけるコミュニティや企業活動の活性化を促進し、さらなる人の流れや交流を生み出す。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 駅舎にコミュニティ機能を新たに付加し、屋内外にコミュニティスペースを整備するとともに、特に要望の声が多く寄せられたトイレをバリアフリー化し、安全かつ衛生的に利用できるようにするもの。</p> <p>【拠点整備事業経費】 駅構内に交流スペースのほか、トイレ、ロータリー、駐輪場等を整備する。</p> <p>◆建築物整備（交流スペース、トイレ等） 64,880千円 ◆設備整備・用地造成等（ロータリー、駐輪場等） 74,110千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>JR四国と協働で整備に取り組むとともに、鉄道やコミュニティバス等、地域交通における交通事業者間の連携・強化を図る。</p> <p>地元高等学校との学官連携事業を通じてニーズや改善点の提案を受けるなど、学生の参画を促すとともに、観光振興団体や交通事業者に寄せられる利用者等からの意見を参考にしながら、人の流れや交流を生み出す。</p>					KPI	<p>①社会増減数（+42人） ②都市機能の進出件数（+1件） ③コミュニティバス該当路線乗客数（+94人）</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【小豆島の玄関口・池田港再整備事業 ～観光振興と住民生活を両立し、観光により持続できるまち・みなとづくり～】

申請者	香川県、小豆島町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,496,380千円(63,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 「モビリティ貸出施設」及び「通路シェルター」の拠点施設整備を通じて観光客等の受入環境改善を図るとともに、「新たな係留施設」を整備することで受入能力を強化し、拠点機能の効果を最大化することで、あらゆる船舶による来島機会の創出や海上交通から陸上交通へのスムーズな流れつくる。 これら池田港の機能強化を通じて人流が拡大し、民間事業者による投資など周辺への波及効果が生まれることで若者・女性などの働く場の創出と町民所得の向上に繋がり、「次代に夢をつなぐ持続可能なまちづくり」を実現させる。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 新たにモビリティのハブ機能を有する拠点や係留施設を整備するとともに、協議会設立などソフト事業を官民連携で実施し、港の活性化を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】 拠点やインフラによる池田港の利用促進、観光振興効果最大化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち・みなとづくり協議会の設立 ・モビリティを活かした観光周遊ルート、観光コンテンツの検討 ・モビリティの周知啓発、利用満足度調査の実施 ・イベントの開催、新航路開設を目指した試験運航 ・ツアーの造成やPR活動によるクルーズ船等の誘致 <p>【拠点整備事業経費】 陸上交通の充実、利用者の利便性向上に資するモビリティ貸出施設、通路シェルターの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モビリティ貸出施設整備 3,500千円（実施設計） ・通路シェルター整備 40,000千円（設置工事） <p>【インフラ整備事業経費】 新しい係留施設の整備による受入能力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係留施設整備 20,000千円（調査設計） 					<p>小豆島の玄関口・池田港再整備事業 ～観光振興と住民生活を両立し、観光により持続できるまち・みなとづくり～</p> <p>■：本事業（池田港 拠点整備事業・インフラ整備事業） ■：実現可能な波及効果</p> <p>クルーズ船など 定期航路 海産物 ホテル</p>	
地域の多様な 主体の参画	産官学など多様な主体で構成される総合戦略会議において、自治連合会を通じて地域住民の意見も吸い上げながら、各分野からの意見を観光課題の解決、池田港のさらなる活性化など地方経済の創生に取り組む。					KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ★①1人あたり旅行消費額（+7,123円） ②納税義務者の平均所得（+319千円） ③モビリティの年間利用件数（+4,000件） ④池田港の年間乗降客数（+25,000人） ⑤池田港の定期航路数（+1航路） ⑥池田港のクルーズ船の寄港回数（+15回）

事業概要【商業・観光交流複合施設等整備事業】

申請者	香川県、直島町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,912,000千円 (60,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 島で唯一のスーパーの移転とあわせ、日常生活や商業・観光交流、防災の中核となる複合施設を整備し、島民の生活環境の向上を図るとともに、宮浦港における新たな浮棧橋の整備や、複合施設内での島民と観光客が利用できる交流スペース等の整備、各施設の利用状況確認や予約申請、キャッシュレス決済ができる多言語対応のシステムの構築により、観光客数や移住者数の増加を図る。 島内外の多様な主体で構成するまちづくり組織を設立し、地域の産業や生活基盤に関する課題の解決、移住促進、観光資源の発掘等を行い、官民協働で「ひと」が煌めき 世界に輝く 直島町」を目指す。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 日常生活や商業・観光交流、防災の中核となる複合施設や新たな浮棧橋を整備するとともに、産学官金労の島内外の多様な主体で構成するまちづくり組織を設立し、移住希望者に対する仕事・住まい等の相談に応じるワンストップ窓口を設けるほか、複合施設や浮棧橋等における多言語対応の利用状況確認や予約申請、キャッシュレス決済ができるシステムを構築する。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○多様な主体で構成するまちづくり組織を設立し、官民協働で地域課題の解決にむけた協議を実施する。 ・複合施設基本計画策定 5,000千円</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○複合施設基本設計 25,000千円</p> <p>【インフラ整備事業経費】 ○宮浦港における新たな浮棧橋を整備。 ・調査設計 30,000千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	産学官金労の多様な主体で構成されるまちづくり組織において、自治会を通じて地域住民の意見も吸い上げながら、各分野の意見を複合施設の管理運営や地域課題の解決、観光資源の発掘等の取組みに反映する。					KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ★①複合施設（スーパー等）の売上額（+60百万円） ②観光客等入込数（+15万人） ③係留バース利用隻数（+60件） ④複合施設における就業者数（+10人） ⑤移住者数（+10人） ⑥生産年齢人口比率（+0.2%）

事業概要【地域の魅力を生かした新しい人の流れの創出計画】

申請者	香川県宇多津町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	32,000千円 (26,300千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> • 町の特性を活かした魅力を高めることで、新たな交流、新しい人の流れをつくり、町の魅力、住みやすさを広く発信し、また来たい町から移住者・定住者の増加に繋げることを目指す。 • 「入浜式塩田」による製塩法に拘り、宇多津町の原点は塩であり、この製塩方法を継承していき、ブランド化を図る。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 宇多津町内全域及び丸亀市の広範囲に周遊出来るようシェアサイクルを導入。「入浜式塩田」や郷土料理を継承していくために浜持ち人の育成、料理教室等のイベントを実施する。また、漫画に掲載されている宇多津町の観光地で、コスプレ聖地巡礼イベントを実施し、宇多津町の魅力を再確認にする。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シェアサイクル導入事業 ・シェアサイクル導入経費（委託料） 4,500千円 ・イベント開催費 800千円 ○コスプレ聖地巡礼イベント事業費 4,700千円 ○伝統を継承するためのイベント事業 ・事業費 16,300千円 					
地域の多様な 主体の参画	<p>シェアサイクルを導入し、新たな交流、新しい人の流れをつくり、町の魅力、住みやすさを広く発信することをJT Bと取り組む。また、丸亀市と連携し周遊範囲を拡大していく。指定管理者と「入浜式塩田」による製塩法に拘り、ブランド化を図る。伝統を継承するためのイベントに婦人会、自治会等の地元団体の協力を仰ぐ。香川短期大学生にもコスプレ聖地巡礼にボランティアとして参加。地域連携で宇多津町の活性化を促進する。</p>				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ① U I J ターン数 (+145人) ② 観光客数 (+40,000人) ③ レンタサイクル乗車人数 (+200人) ④ 創業支援・企業誘致 (+10件) ⑤ 町内事業所数 (+106事業所)

事業概要【畑田駅周辺整備事業】

申請者	香川県綾川町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	380,958千円 (110,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・畑田駅周辺整備事業を通して、地域住民の満足度が低い生活環境分野の改善を図ることにより、働く世代の居住地として恵まれた地理的条件を最大限に活かし、子育て世帯に選ばれる地域を目指す。 ・移動スーパーや防災活動を通じて、若者の地域参加意識の向上を図り、拠点施設が「若者が活躍できる場」となることで、世代間・地域間のつながりが生まれ、より魅力的で持続可能な地域となり、「誰もが住みたくなるまちへ」を実現させる。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○買物弱者支援事業 ○町営バスの路線延長による利便性向上事業 ○防災活動を通じた地域コミュニティ活性化事業 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共交通、買物支援、地域防災の拠点となる施設の整備 <p>【インフラ整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幹線道路及び畑田駅から拠点施設へのアクセス道の整備 ・事業費 110,000千円 					   	
地域の多様な 主体の参画	<p>香川県や鉄道事業者との連携を通じて、生活環境分野の改善を図るとともに公共交通の利用促進の取組みを実施する。</p> <p>また、自治会・自主防災組織と連携し、利用者目線での住民のニーズを把握し、生活支援としての移動スーパーの利用者増加に繋げるとともに、防災訓練をはじめとした地域コミュニティ強化のための取組みを実施する。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①畑田地区の転入者数 (+65人) ②交通事故の減少件数 (▲4件) ③畑田駅利用者数 (+640人) ④畑田地区の自治会加入率 (+1.0%) ⑤移動スーパー利用人数 (+560人) ⑥町営バス乗降客数 (+280人)